

公開実用 昭和64- 47256

(5)

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭64- 47256

⑬ Int.Cl.⁴

A 47 F 5/08
A 47 B 96/06
F 16 B 2/16
F 16 G 7/14
F 16 G 11/12

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和64年(1989)3月23日

Z - 6850-3B
M - 6578-3B
C - 8714-3J
A - 7523-3J
B - 8814-3J

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 棚受用支持装置

⑮ 実 願 昭62- 141696

⑯ 出 願 昭62(1987)9月18日

⑰ 考案者 荒川 秀夫 東京都杉並区善福寺4丁目15番4号 荒川技研工業株式会社内

⑱ 出願人 荒川技研工業株式会社 東京都杉並区善福寺4丁目15番4号

⑲ 代理人 弁理士 薩師 稔 外2名

明細書

1. 考案の名称 棚受用支持装置

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 棚等の物品（B）を定着又は載置できる受部材（1）に、ワイヤー又はレールの被装着体（A）を嵌挿する挿入部（2）と、該挿入部（2）中の被装着体（A）を係脱するチャック部材（3）とを有するホルダー（4）を備えると共に、このチャック部材（3）は、内周面にテーパー面部（6）を有する中空孔に嵌装されるスリープ（7）と、このテーパー面部（6）に当接するボール（8）又はシューとを持ち、これらを一方向に付勢するバネ（9）とから構成されていると共に、前記ホルター（4）とスリープ（7）との一侧面に前記挿入部（2）に連通する摺割溝（4₁）（7₁）を全長にわたって、それぞれ設け、該摺割溝（4₁）（7₁）に嵌挿する嵌合片（15）のあるキャップ（16）を前記スリープ（7）又はホルダー（4）に着脱自在に備えたことを特徴とする棚受用支持装置。

公開実用 昭和64- 47256



- (2) 前記スリープ(7)が、前記摺割溝(7₁)を避け
て一対のガイド溝(7₂)(7₂)を備えているものであ
る実用新案登録請求の範囲第1項記載の棚受用支
持装置。
- (3) 前記スリープ(7)が、ホルダー(4)にあるテ
ーパー面部(6)に当接するコーン部(7₃)を持ち、
一端をホルダー(4)から突出配備し他端にバネ受
部を備えたものである実用新案登録請求の範囲第
1項又は第2項記載の棚受用支持装置。
- (4) 前記ホルダー(4)が、前記バネ(9)の封入用
のバネ取付部材(10)を備えたものであって、前記
スリープ(7)に形成したガイド溝(7₂)に嵌入配備
されるものである実用新案登録請求の範囲第1～
3項のいずれか一つの項記載の棚受用支持装置。
- (5) 前記バネ(9)が、前記ホルダー(4)内に嵌装
されたコイルバネであって、スリープ(7)のコー
ン部(7₃)を一方向に附勢するようにバネ受けにボ
ール(17)を介在しているものである実用新案登録
請求の範囲第1～4項のいずれか一つの項記載の
棚受用支持装置。



(6) 前記キャップ(16)が、前記スリーブ(7)に嵌挿できるリング部からなり、被装着体(A)を嵌挿する割溝(16₁)を有し対向位置に前記嵌合片(15)が突設されているものである実用新案登録請求の範囲第1～5項のいずれか一つの項記載の棚受用支持装置。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、棚板、ディスプレー、パネル、額、ハンガーその他インテリア用構造体を店頭、家庭、展示場などに陳列装備するためレール又は細長いワイヤーなどの被装着体で簡単に任意の位置に位置決めが可能な棚受用支持装置に関するものである。

〔従来の技術〕

一般に、室内或いは陳列窓等に、物品を載せるための棚を設ける場合、洋服などを吊して陳列する場合などにおいて、陳列効果や、スペース効果をあげるため、また物品が変わった場合の配置変更などのために、棚板の高さや、洋服などの物品

公開実用 昭和64-47256

を吊す位置、高さなどを任意に選ぶことが容易であることが要求される。

(考案が解決しようとする問題点)

この金具には従来ではフックや穴あきプラケット、取付ロッド、或いは取付螺杆が用いられるが段階的な変更が多く無段階に移動調節することができない不便があった。

このため最近ではチャック部材を備えたホルダーの受具でワイヤーの被装着体に摺動できるようにしたことが試みられているが、ワイヤーに装着した受具を取付け、取外しするのにワイヤー末端より挿入、挿脱しなければならず、その脱着操作や修正も面倒であるばかりか取扱上きわめて不便でしかも展示効果をあげるために斜めに棚板やパネルを配備する場合には使用できないなどの問題があった。

本考案は、この従来の問題点を解決し取扱い容易で棚などの物品設定並びに位置調整も簡単に可能であり、傾斜状態でも配備できかつ交換作業も楽にでき、かつ定着性を向上させて安全性を高め



る棚受用支持装置を構成簡単で安価に提供することを目的としたものである。

(問題点を解決するための手段)

本考案は、棚等の物品Bを定着又は載置できる受部材1に、ワイヤー又はレールの被装着体Aを嵌挿する挿入部2と、該挿入部2中の被装着体Aを係脱するチャック部材3とを有するホルダー4を備えると共に、このチャック部材3は、内周面にテーパー面部6を有する中空孔に嵌装されるスリープ7と、このテーパー面部6に当接するボル8又はシューとを持ち、これらを一方向に付勢するバネ9とから構成されていると共に、前記ホルダー4とスリープ7との一側面に前記挿入部2に連通する摺割溝41, 71を全長にわたって、それぞれ設け、該摺割溝41, 71に嵌挿する嵌合片15のあるキャップ16を前記スリープ7又はホルダー4に着脱自在に備えたことを特徴とする棚受用支持装置である。

(作用)

この支持装置では、物品Bをレール又はワイヤ

公開実用 昭和64-47256

ーの被装着体A上に移動する時はホルダー4のチャック部材3によって上方向には自由に動くが下方向に移すときにはホルダー4から突出したスリープ7を、バネ9の復元力に抗して押すとボール8、8はフリーの状態となり、その間にレール又はワイヤー上に移動し、適宜位置で押圧をやめるとバネ9によりスリープ7は復位してワイヤーはボール8、8間に圧接挟持され、棚の物品Bは被装着体Aに固定され、特に摺割溝41、71に嵌合片15があるので被装着体Aへの抑えとなつてこじれに対して安全に定着維持できる。

(実施例)

第1図乃至第6図の具体例では棚板又はパネルなどの物品Bをレール又はワイヤーの被装着体Aに装着して配備する際にホルダー4を介して行われる。この場合棚等の物品Bを定着又は載置できる受部材1のあるホルダー4に、レールの被装着体Aを嵌挿する挿入部2と、該挿入部2中の被装着体Aを係脱するチャック部材3とを備えると共に、前記チャック部材3は、内周面にテーパー面



部 6 を有する中空孔に嵌装されるスリープ 7 と、このテーパー面部 6 に当接するボール 8 又はシャーとを持ち、これらを一方向に付勢するバネ 9 とから構成されていると共に、前記ホルダー 4 とスリープ 7 との一側面に前記挿入部 2 に連通する摺割溝 4₁， 7₁ を全長にわたって、それぞれ設け、該摺割溝 4₁， 7₁ に嵌挿する嵌合片 15 のあるキャップ 16 を前記スリープ 7 又はホルダー 4 に着脱自在に備え、また前記受部材 1 としては棚板の穴に嵌合されたときの抜け止め防止用のフランジ 4₂ を突出したものが用いられるが、受部材 1 が前記ホルダー 4 の一端に突出して備えられバネ 9 を保持する突杆 10₁ のある取付部材 10 を一対を持っていて棚板を載置できるようにしてある。

なお、前記スリープ 7 としては、前記テーパー面部 6 に当接するコーン部 7₂ を持ち、一端をホルダー 4 より突出配備し、他端にバネ受部を備えてチャック部材 3 の働きで一方向にスライドできるが他方向にはずれないようロックする機能を持たせて使用上便利な形態としてある。

公開実用 昭和64- 47256



前記スリープ7は前記摺割溝7₁を避けて一対のガイド溝7₂、7₃を備えているもので、該ガイド溝7₂に嵌装されコイルバネ9をホルダー4に設けたバネ取付部材10で封入し、バネ受けにボール17を介在させてスリープのコーン部7₃を一方向に附勢してボール8を互に挾圧するようにしてし、スリープ7の動きをよくするようにしてある。

前記ホルダー4のテーパー面部6はボール8がテーパー面部6の小径側の近くにあるときに遠くにあるときよりもボール8、8間の間隔が小なるようにボール8の接離を拘束していて、このボール8、8間の接離により前記ワイヤーとの係止或いは滑動が行われるようになっている。

なお、前記バネ取付部材10は、ネジ部材10₂でホルダー4に固定したものであってホルダー4の内方に嵌挿したスリープ7のガイド溝7₂に突出させたキー作用を兼ねたものがよい。また前記棚の物品Bは一段に限らず上下二段以上の複数段に配置することがレールへの前記ホルダー4の設

置によって自由に選べる。また挿入部2にはレールに代えてワイヤーを挿入することもできる。また前記キャップ16が、前記スリープ7に嵌挿できるリング部からなり、被装着体Aを嵌挿する割溝16、を有し対向位置に前記嵌合片15が突設されているもので、被装着体Aに差入れたのちに嵌合片15を摺割溝41、71に嵌入し、ホルダー4に嵌着一体化して被装着体Aへの押えとしてこじれ力に対して安全に定着維持できるようにしてある。

第7図及び第8図の具体例では前記ホルダー4内のスリープ7の下端部に中空筒体を延設したものであって、前記受部材1に嵌挿支持されているがよく、被装着体Aへの配備を容易化してある。

また、ワイヤーの途中または下端に額やパネルその他のインテリア組立構造物の吊垂或いは載置に便利に用いられるものである。

(考案の効果)

本考案により、物品を壁面などの取付面に対して任意の距離隔たった位置に取り付ける際に設置

公開実用 昭和64-47256

の処理が容易にでき、バランスを持って配備でき且つワンタッチでレール又はワイヤーに着脱できるのでその取り付け、取り外し作業が極めて簡易で迅速にでき作業性を大幅に向上了し、互換性も良好であり、しかも棚板やパネルのこじれに対しても嵌合片のあるキャップで摺割溝が閉塞されているため、安全な押えとなって定着維持も容易で安全性を増し位置の調整も広範囲に可能で陳列棚の張設が適確且つ安全にでき周囲の美德をも損なわない体裁良好な支持装置にでき、さらに異なる取付面積構造に対しても広範囲に適用できる堅牢形態となっているので汎用性にも富むなどの実用上の効果がある。

4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示し、第1図は正面図、第2図は平面図、第3図は底面図、第4図は第2図I-I線における拡大縦断面図、第5図は分離状態の斜面図、第6図は使用状態の斜面図、第7図は他の実施例の縦断面図、第8図はその底面図である。

A … 被装着体、B … 物品、

1 … 受部材、2 … 挿入部、3 … チャック部材、

4 … ホルダー、4₁ … 摺割溝、6 … テーパー面部、

7 … スリープ、7₁ … 摺割溝、7₂ … ガイド溝、

7₃ … コーン部、8 … ボール、9 … バネ、10 …

バネ取付部材、15 … 嵌合片、16 … キャップ、

16₁ … 割溝。

実用新案登録出願人 荒川技研工業株式会社

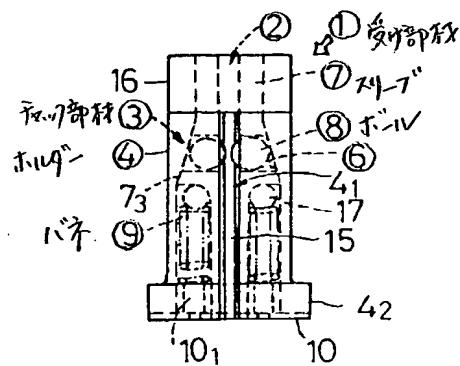
代理人弁理士 薬師 檀

代理人弁理士 依田 孝次郎

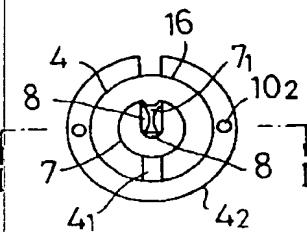
代理人弁理士 高木 正行

公開実用 昭和64-47256

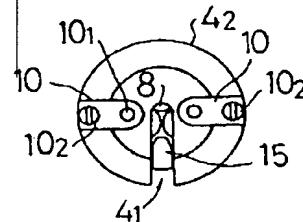
第1図



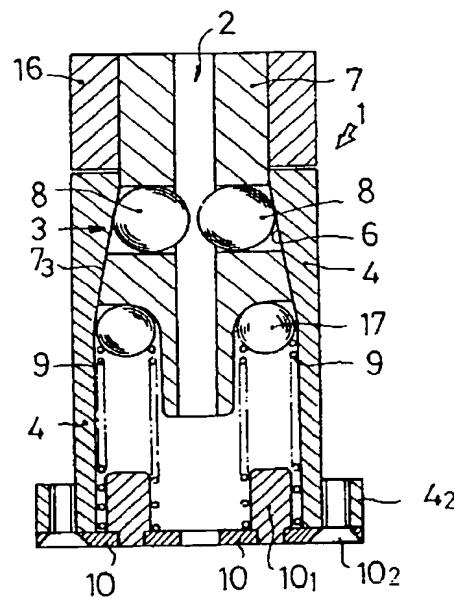
第2図



第3図



第4図

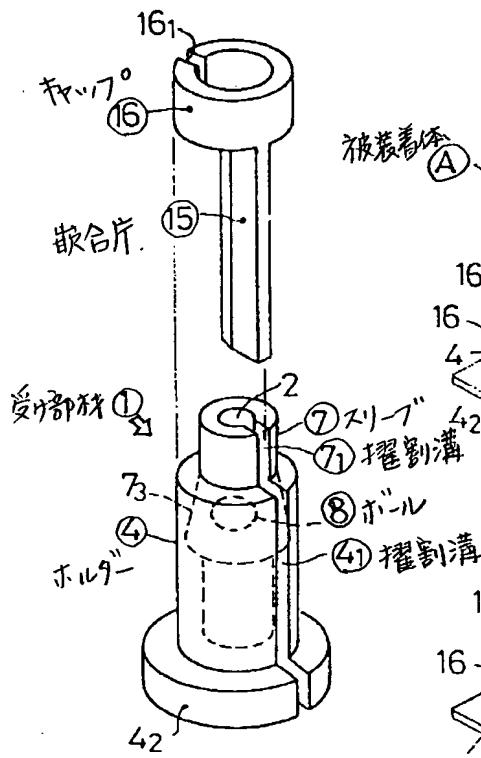


594

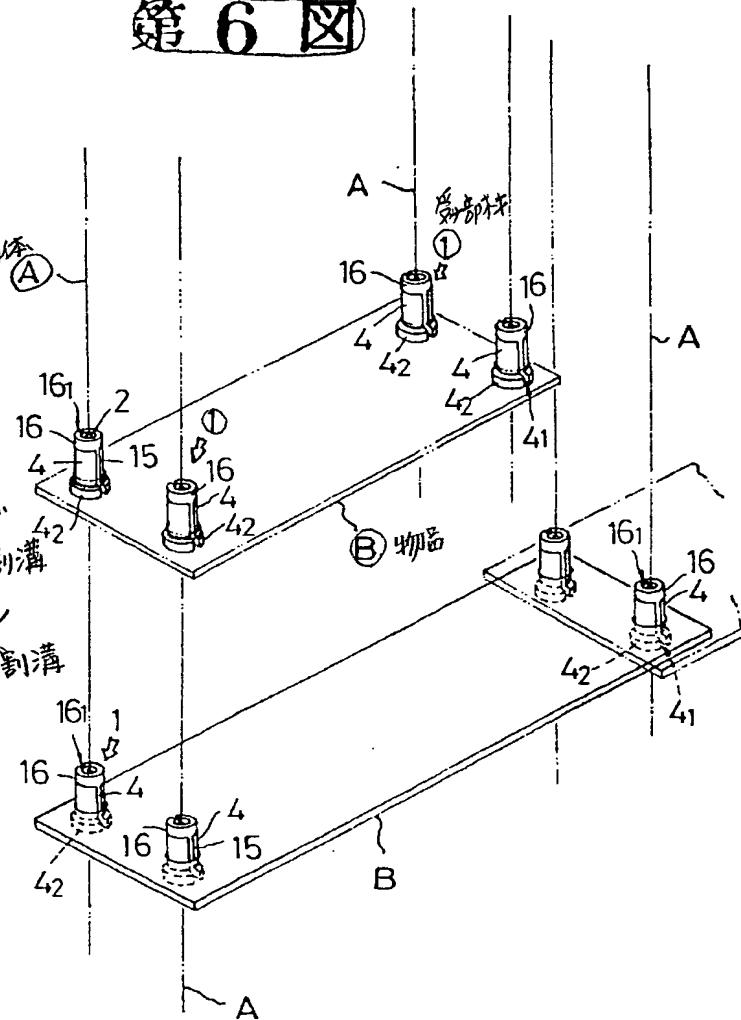
昭和64-47256

BEST AVAILABLE COPY

第5図



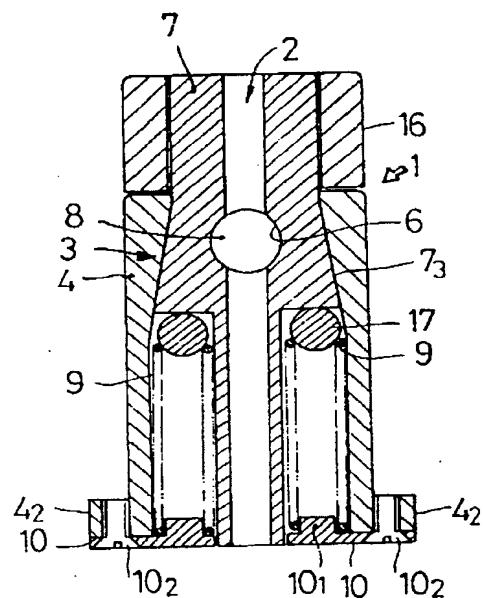
第6図



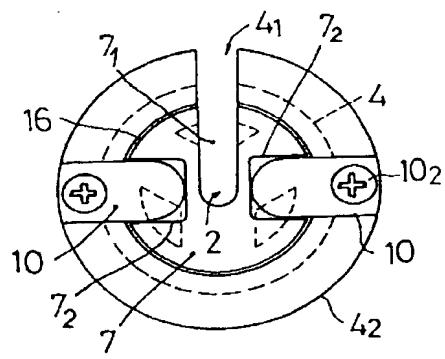
595
昭和64-47256

BEST AVAILABLE COPY

第7図



第8図



596

実用64-47256